

IR分析演習 資料 補足

Excel2013でのPowerQueryによるデータ結合用

高知大学 大学教育創造センター
高畑 貴志
takashi-takabatake@kochi-u.ac.jp

データの結合

この資料では、Excel2013にPowerQueryを組み込んだ場合の、PowerQueryを用いたデータ結合について、Excel2016と異なる部分を紹介します。

- Excel2010では確認していませんが、Excel2010にPowerQueryを組み込んで使う場合も、Excel2013と同様に処理できると思われます。

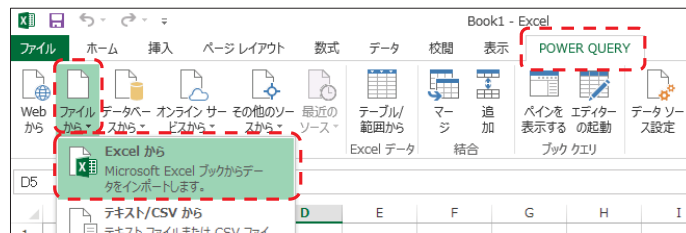
2

Part.2-2 データの結合(04a学籍, 04b成績, 04cアンケート)

Excel2013:PowerQueryでのデータ結合

資料p.60に対応

- ①空のExcelファイルを新規作成し、POWERQUERY
→ファイルから→Excelから



PowerQueryでは、Excelのデータを「クエリ」に変換して操作します。

3

Part.2-2 データの結合(04a学籍, 04b成績, 04cアンケート)

Excel2013:PowerQueryでのデータ結合

資料p.63に対応

- ④クエリツールのマージを選択

マージの画面が現れる。



4

Excel2013:PowerQueryでのデータ結合

資料p.64に対応

イメージ

マージされたテーブルを作成するには、テーブルと照合列を選んでください。

学籍番号変換値	性別名	学部名	年次	入学年度	カリキュラム年度	入試区分
kf0d24cfe	男	A	1	2018	2018	C

⑤学籍に結合するクエリとして成績を選択し、それぞれの学籍番号変換値の列を選択し、

学籍番号変換値	平均点2014	平均点2015	平均点2016	平均点2017	平均点2018	平均点総計
k15ce6921	null	null	null	null	82.4	82.4

左外部（最初の行すべて、および2番目の行のうち一致するもの）を選択して、OK

結合の種類

左外部(最初の行すべて、および2番目の行のうち一致するもの...)

✓ 選択は、最初の 1539 行からの 1539 と一致しています。

OK

キャンセル

5

Excel2013:PowerQueryでのデータ結合

資料p.68の補足

クエリの結果を保存したテーブルを、通常の表に戻す「範囲に戻す」を適用する前に、Excel2013では、テーブルに対応するクエリを削除しておく必要があります。

6